

回答書

（工事名）響灘東地区岸壁（－7.0m）工事（7）

番号	質 問	回 答
1	第 0001 号代価表 グラブ床掘 グラブ浚渫船は鋼 D23.0m3（普通地盤・スパッド式）・供用係数 $\alpha=1.65$ と考えてよろしいでしょうか、ご教示下さい。	グラブ浚渫船の規格は鋼 D23m3（普通地盤用、スパッド式）、供用係数は $\alpha=1.85$ です。
2	第 0002 号代価表 グラブ浚渫船拘束 拘束日数は汚濁防止柵の取付・取外で1日その他で0.5日、合計1.5日を見込んでいるのでしょうか、ご教示下さい。	拘束日数は1日です。
3	第 0003 号代価表 土運船運搬 土運船は1300m3（押航・開閉）・供用係数 $\alpha=1.85$ と考えてよろしいでしょうか、また、運搬距離もご教示下さい。	土運船の規格は650m3 積（押航、開閉式）、供用係数は $\alpha=1.85$ です。 運搬距離は6.67kmです。
4	第 0004 号、0005 号代価表 基礎捨石投入及び基礎捨石荒均し 潜水土船の供与係数 $\alpha=1.65$ と考えてよろしいでしょうか、ご教示下さい。	供用係数は $\alpha=1.65$ です。
5	第 0006 号代価表 汚濁防止膜（処分場内） 汚濁防止膜の供用日数をご教示下さい。また、H鋼の供用日数もご教示下さい。	海上地盤改良工の施工期間中は使用するものとし、供用日数を算出願います。
6	第 0007 号代価表 汚濁防止柵 汚濁防止柵の供用日数は取付取外し2日、掘削2日の計4日と考えてよろしいでしょうか、また、汚濁防止膜の1日当りの損料についてもご教示下さい。	No.5の回答参照。 損料については公表いたしかねますので、見積等により対応願います。
7	第 0012 号代価表 汚濁防止膜アンカー運搬 運搬は往復と考えてよろしいでしょうか、ご教示下さい。また、運搬距離もご教示下さい。	往復計上しています。運搬距離（片道）は6.4kmです。
8	第 0014～0017 号代価表 汚濁防止膜設置撤去 クレーン付き台船、引船、潜水土船の供用係数は $\alpha=1.85$ と考えてよろしいでしょうか、ご教示下さい。	供用係数は $\alpha=1.85$ です。
9	第 0018 号代価表 汚濁防止膜開閉作業 引船の規格、運転時間、供用日数をご教示下さい。	歩掛は見積により決定しています。歩掛の公表はいたしかねますので、設計図書等を基に設計又は見積等により対応願います。
10	床掘数量に余掘り数量は含んでおりますか。 また、含んでいなければ余掘り数量を教示願います。	床掘は余掘りを考慮しないため、余掘り数量は含んでいません。

番号	質 問	回 答
1 1	グラブ浚渫船の規格を教示願います。	No. 1 の回答参照。
1 2	浚渫箇所能力係数を教示願います。	修正土厚区分能力係数は $E1=0.85$ です。その他能力係数については、港湾請負工事積算基準 令和 6 年 2 月（国土交通省港湾局）を基に設計していますので、本基準により選定願います。
1 3	第 2 号代価表 グラブ浚渫船拘束 浚渫船、引船の拘束日数を教示願います。	No. 2 の回答参照。
1 4	第 6 号代価表 汚濁防止膜 汚濁防止膜の供用日数を教示願います。	No. 5 の回答参照。
1 5	第 7 号代価表 汚濁防止枠 汚濁防止枠の供用日数を教示願います。	No. 6 の回答参照。